

第3回橋本市ESD連続セミナー

奈良教育大学 中澤 静男

- ◇開催日時 平成30年8月27日(月)14時～16時
- ◇会場 橋本市教育文化センター
- ◇参加者 川西・野田・中谷(三石小)、岡村・西淵(紀見小)、米山・辻本(あやの台小)
森(橋本市教委)、北村・中澤(奈良教育大学)

◇内容

テーマ：ESD学習指導案

1. 前回のふりかえり

(1) ESDで育てたい見方・考え方(ESDの視点)

※ESDの視点は、教材に内在する。

自然環境・社会環境 (実態概念)	「多様性」	「相互性」	「有限性・循環性」
人・集団の意思や行動 (規範概念)	「公平性」	「連携性」	「責任性」

国立教育政策研究所より改変

多様性：色々ある方がいい

相互性：つながっている、つながりを尊重する

有限性・循環性：有限なものである。それが循環していればいい。

公平性：世代内と世代間の公平を考えていることが重要。

連携性：排他的でなく、異なるもの(異文化を背景とする人々)とも妥協点を見出し、協働する。

責任性：最後までする。リーダーシップを発揮する。協力する。

問い1. 次の教材(ネタ)に内在するESDの視点は何でしょうか?(複数可)

①唐招提寺の釈迦如来立像

多様性・連携性・公平性

②薬師寺の百万巻写経勧進

連携性・公平性・責任性

(2) ESDで育てたい資質・能力

※資質・能力の育成は指導方法に依存する。

①クリティカルシンキング(批判的思考力・代替案の思考力)

②システムズシンキング(総合的・多面的思考力)

③長期的思考力

④コミュニケーション力

⑤協働的問題解決力

問い2. このような資質・能力を養うのに適切な指導方法とは?

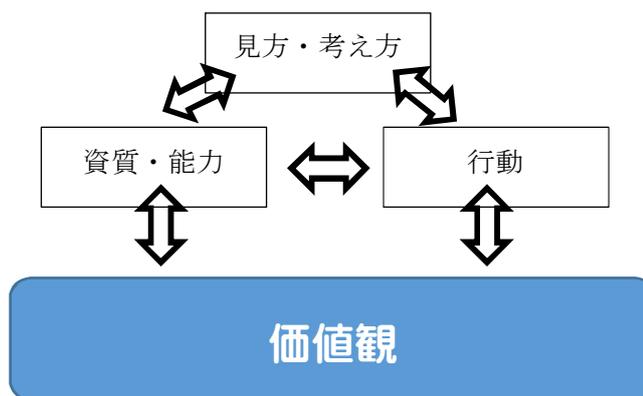
問題発見ー調査活動ー話し合いー行動化 といった問題解決型の学習

(3) ESDで育てたい価値観

※ESDの目的は、持続可能な社会創りに関する価値観と行動の変革です。

※価値観とは、見方・考え方、資質・能力、行動の基盤となるものです。

- ①世代内・世代間の公正を重視する
- ②生態系の保護を重視する
- ③互いの人権・文化を尊重する
- ④経済よりも幸福感を重視する



見方・考え方、資質・能力、行動は、互いに影響しながら、強化されていきます。その繰り返しによって、基盤となる価値観も形成されていきます。

(4) 価値観の形成・行動化と深い学び

価値観を形成したり、行動化を促したりするには、表面的な学びを繰り返しても効果はありません。

どのような学びが価値観の形成や行動化を促すでしょうか？

感動のある学び。人は知識だけでは変わらない。知識と感性が融合したときに変容する。

(5) ESDとSDGs

ESDはSDGsの達成に貢献する教育です。(資料参照)

2. ESD教材開発について

ESD教材開発に関する2つの方向

(1) 小学校低・中学年

- ・地域を大切に思う心を養い、地域社会の担い手意識、当事者意識を育てることを目的に、地域のよさを見つける学習（世界遺産学習も同じ）。
- ・教材化するもの：地域遺産（建造物・郷土の食文化・伝統行事・伝統工業・方言・生活習慣など）
世界遺産、産業、風景、生き物、人物、などなど

(2) 高学年・中学校・高等学校

- ・地域の課題を見だし、その解決方法を追究する学習
- ・課題の切り口として、SDGsの17のゴールを参考にする。
- ・1つの切り口から入った学習が、他のゴールにつながっていく
- ・地域課題を追究することで、他の地域の課題ともつながっていき、地域を突き抜け、地球規模の学習へと発展する。(真のグローバル教育)
- ・地域課題と関連すると思われるゴールを選び、そのターゲットを読み込む。

3. ESD 学習指導案の様式（各教科・総合・生活）

(1) 単元名

(2) 単元の目標（3観点で 知・技、思・判・表、主学と、文末に括弧書き）

(3) 単元の評価規準（3観点で：規準の数は授業時間数とだいたいあわせる）

(4) 単元について

①教材観：教材の価値、他学年の学習との関連、SDGs との関連（ゴール名とその理由）

学習全体を通して養いたい価値観

②児童観：学習に入る前の、学習内容（単元）に関する児童の実態（アンケート結果など）

③指導観：指導上の工夫、配慮すること。評価方法など。

④ESD との関連

・学習を通して主に養いたい ESD の視点

【多様性】：○△を調べることを通して、○○の多様性に気づくことができる。

【責任性】：△◇氏の行き方を調べることで、責任性の重要性を理解することができる。

・学習を通して主に育てたい ESD の資質・能力

どのような学習方法を実施することで資質・能力の何を育てることができるのかを記す。

(5) 単元展開の概要

全○時間

主な学習活動	学習への支援	◇評価 ・備考
1.		◇評価は評価規準のどれかをコピペし、括弧書きで（知・技）などを書く
2.		
3.		

※本時案は不要です。ただし、授業する場合にはもちろん必要。授業する場合は、呼んでいただければ参観させていただきます（森先生に相談してください）。

※本時案の目標は1つです。また、評価基準も1つです（評価は1時間に1つだけ）。

後は本時の展開（様式は、単元展開の概要と同じ）。

4. ESD 実践事例の作成 (マスター・スペシャリスト)

- ・ ESD 学習指導案と形式は同じ
- ・ 本時は不要
- ・ 考察に重点を置く

次のことについて「たまねぎ」形式で2つか3つの切り口で考察を作成

考察内容は、他の教材開発や他の実践者にとって有益なものとするのが目標です。

○教材について

ESD 教材として、SDG s への貢献について

○指導方法について

特に学習前後の児童の変容を比較し、その要因について考察する。

- ・ 考察だけで、A4 で 1 ページ以上は必要

※次回は、12月7日(金)16時~です。

※宿題

次回までにESD学習指導案を作成し、人数分コピーして持参してください。